

標記工場ニ於ケル従業員ノ解雇問題ニ發端セル労働争議ノ其ノ
概ノ状況左記ノ通りニ有之

一、會社側ノ動靜

- 1 會社側ニ在リテハ既報ノ通り工場内外ノ警備員トシテ人吏
四十名ク臨時ニ雇入レ警備ヲ為サシメ居リタルモ五月十一
日人夫四十名中三十名ク解雇シ残リノ十名ニテ工場内外ノ
火ノ番ヲ為サシメ争議團ニ対スル抗爭空氣ノ一掃ニ努メタリ
- 2 解雇中労働組合未加盟者ハ三十六名ニシテ動向注視中ナリ
シカ内三十五名ハ五月十二日迄ニ自發的ニ會社ニ空頭シ何
シモ解雇ヲ承認シ賃銀及解雇手當ヲ受領セリ
- 3 社長 青藤又雄ハ五月八日製紙部従業員九十八名ノ解雇ヲ
發表シ工場長 片柳政之助ニ之ノ措置ク一任シ商用ト称シ
旅行中ナリシカ問題ノ更化ヲ憂慮シ五月十二日翌カニ旅行

先大坂ヨリ帰京ニ解決策苦心協議中ナリ

二、争議團側ノ動靜

- 1 争議團側ハ江戸川迄半井一ノ一六七ニ島山親方ヲ本部トシ
テ對策中ナリシモ茲様狹隘ノ為ノ半井一ノ一八四ニ團員佐
々木近男方ニ青年隊本部ヲ設置分箱シ従業員中島親外十
一名ハ依然工場内ニ籠城シ一方別記聲明書ヲ發表セリ
- 2 社長青藤又雄五月八日ヨリ會社セサルハ問題ヲ輕視シ工場
長シテテ簡單ニ解決セシメ得ルモノトシテ故意ニ逃避シ居
ルモノデ非人道的ナリト極度ニ憤慨シ團員自ラ社長ノ行衛
搜查ノ方途ヲ謀ズルニ至レリ
- 3 五月十三日組合代表上原啓義従業員代表森谷文雄外一名ハ
所轄小松川警察署裏ヨリ一部従業員ヲ工場内ニ籠城セシム
ルハ不穩當ナル旨説得之ヲシタイトテ幹部間ニ於テ協議中
争議解決ニ有利ニ展開セシムバク之シテ終トシ同日工場内